

研 究 成 果

<p>サブテーマ名：4-1 循環型社会構築に向けた都市空間評価システムに関する研究 小テーマ名：4-1③ 都市空間評価システムに関する研究</p>
<p>サブテーマリーダー： 研究従事者：名古屋大学 森川高行</p>
<p>研究の概要、新規性及び目標</p> <p>①研究の概要</p> <p>少量消費・少量廃棄を前提とした循環型環境都市は、住民に活動的、空間的な制約を課することが考えられる。そのため、たとえ環境負荷の軽減に有効な循環型環境都市を理論上構築できたとしても、住民のこれら制約に対するストレスが受容できないほど大きなものであれば実現は不可能である。そこで本研究では、循環型環境都市の評価として、物質・エネルギーの循環度や財務的成本とは別に、「生活ストレス」を用いた住民の受容可能性という評価軸を設定し、ストレス指標が住民の受容可能性評価指標として適用可能かを検討した後、ストレス指標を仮想的な循環型環境都市に適用し、ストレスの傾向を把握することが目的である。</p> <p>②研究の独自性・新規性</p> <p>これまで快適性は、どれくらい満足しているかというプラス側の指標で量られてきたが、物質的に満たされており、快適に暮らすことのできる現在の社会において満足感を測ることは難しく、限界がある。また、循環型環境都市を目指す中では、都市空間構成や生活様式にある程度の規制が導入される可能性があるため、本研究では、これらの規制に対してどのくらい心理的な抵抗があるのかといった「生活ストレス」での評価を試みた。</p> <p>③研究の目標（各フェーズ毎に数値目標等をあげ、具体的に）</p> <p>「生活ストレス」を測定するという新たな試みに対してその手法を検討し、アンケート調査を行った後、生活ストレス指標が循環型環境都市における受容可能性指標として適用可能かどうかの検討を行う。さらに、生活ストレス指標を仮想的な循環型環境都市に適用し、ストレス傾向を把握する。</p>
<p>研究の進め方及び進捗状況（目標と対比して）</p> <p>個人が循環型環境都市で生活する場合に生じるであろう生活ストレス項目を設定し、AHP (Analytic Hierarchy Process) 手法を基本とした階層構造を用いて各生活ストレス項目をモデル化した。その後、各生活ストレス項目についてストレス度と重みを聞くプレアンケート調査を行い、ストレス指標が住民の受容可能性指標として適用可能かどうかの検討をおこなった。また、プレアンケート調査票や生活ストレス測定手法の再検討し、再度アンケート調査を行い、仮想的な循環型環境都市に適用し、生活ストレス傾向の把握を行った。</p>
<p>主な成果</p> <p>具体的な成果内容：</p> <p>生活ストレスと居住地に対する意識との関係に関して、住民が循環型環境都市での居住を生活ストレスにより「受容できない」と評価する際、そこには二通りの生活ストレスの効果が考えられる。一つは、居住環境により発生する、日々の生活中で生じる様々な要因における生活ストレスが蓄積し、総合的にその環境を拒否する場合である。もう一つは、ある居住環境に対して明確な基準があり、それが満たされない場合に、その環境を拒否する場合である。平成 14 年度に行ったプレアンケート調査では、前者の生活ストレスに関して研究を行った。平成 15 年度は、14 年度の調査の分析を別の手法で試み、また、新たに調査を行い、後者型のストレスに関しての分析を行った。</p> <p>平成 14 年度は、生活ストレス項目（移動時間と手段、単一建築物内の用途混合、地区内での用途混合、緑の割合など）を設定し、各項目における生活ストレス得点と各項目の重みを、アンケート調査を実施してデータを取得した。調査は、学生 135 名とその親族または知人 135 名、その他一般の協力者 250 名の計 520 名を対象とした。調査項目は、環境問題についての意識や知識、現在の居住地に対する意識などとした。これらの質問の回答を用いて、生活ストレスの傾向を属性別に把握し、現在の居住地に対する意識と生活ストレスの関係を分析した結果、いくつかのストレスサーについて属性によりストレスの感じ方が異なることやストレス指標を受容可能性評価に適用できる可能性があることが確認できた。</p> <p>平成15年度においては、平成14年度のプレ調査で重みに対する回答で項目間の整合性が取れていないという問題があったため、AHP手法ではなく、居住地に対する意識を被説明変数としたロジットモデルを用いて分析を試みた。その結果、現在の居住地に対する意識だけでなく、仮想都市への適用が可能となった。</p> <p>また、後者型の生活ストレスを分析するためにアンケート調査を実施した。対象は、名古屋大学の学生とその</p>

